

開館時間

10:00 - 18:00

入館は17:30まで

2024

2/10

sat

3/10

sun

令和5年度 勝央美術文学館特別展

休館日：月曜日

赤堀佐兵と 独立美術協会 の画家たち

オープニングレクチャー

「油彩画修復の倫理
—赤堀佐兵作品修復を
通して—」

2/10(土) 10:00~11:00

講師 大原秀之(絵画修復家)

定員 30名(申込不要・先着順)

※本展の入場料金が必要



赤堀佐兵《獅子と鷹》1959年 油彩・キャンバス 勝央町蔵

入場料金 一般：500円※20人以上の団体は2割引／大学生・高齢者(65歳以上)：100円割引※要証明書提示／高校生以下：無料
／障がい者手帳をお持ちの方および介助者1名は無料 ※割引の併用は不可

主催：勝央町、勝央町教育委員会

協力：公益社団法人 糖業協会、日野市立小島善太郎記念館、日野市、岡山県立美術館

後援：独立美術協会、勝央町文化協会、公益財団法人 美術学術文化振興財団、NHK 岡山放送局、RSK 山陽放送、OHK 岡山放送、TSC テレビせとうち、RNC 西日本放送、KSB 瀬戸内海放送、テレビ津山、山陽新聞社、津山朝日新聞社、FM 岡山、エフエムつやま



勝央美術文学館
SHOO MUSEUM OF THE ARTS

赤堀佐兵生誕120年記念展

赤堀佐兵と独立美術協会の画家たち

このたびは、勝央町出身の洋画家
赤堀佐兵の生誕百二十年にあたり、
彼の日本近代洋画壇における功績
やその影響を、地域の方々はもと
より世の人々に広く知って頂き、
赤堀の作品に新たな角度から光を
当てるべく、周年記念展を開催
いたします。

独立美術協会創立当時より活躍し、
志半ばで逝った赤堀が、その清貧の
創作活動の中で追及した本当の
「美」について、彼と関係の深い
独立創立当時の作家たちの作品と
ともに展示し、その精神性について
改めて検証いたします。



赤堀 佐兵 Sahei Akahori (1904-1961)

現在の岡山県勝田郡勝央町勝間田の山手屋（呉服屋）の四男として生まれる。1928年より画家を志して上京、小島善太郎に師事。傍ら、洋画協会研究所に学ぶ。1931年、独立美術協会設立と共に入会し、同会を拠点として文展などで活躍、数々の賞を受賞する。初期作品に見られるキュビズム的構成から、シュールレアリズム、フォービズム、須田国太郎風の風景画と次々にスタイルを変えながら、一貫して身近な田園風景や家畜、小動物をモチーフに、キュビズムの構成を元にした対象の要約と表現の抑制による独特の清冽で詩情あふれる作風を確立した。1994年、勝央町名誉町民に追頒。



- 1 赤堀佐兵《進発(馬)》1958年 油彩・キャンパス
 - 2 赤堀佐兵《工場のある丘》1954年 油彩・キャンパス
 - 3 赤堀佐兵《白い鳥》1960年 油彩・キャンパス
 - 4 小島善太郎《一つの桃》1980年 油彩・キャンパス
 - 5 小島善太郎《妙義山秋景》1932年 油彩・キャンパス
 - 6 清水登之《廬山(一文字山)》1939年 油彩・キャンパス
 - 7 里見勝蔵《椿》1935年 油彩・キャンパス
 - 8 曾宮一念《冬日》1939年 油彩・キャンパス
 - 9 林武《ダリア》1940年 油彩・キャンパス
 - 10 小林和作《海》1939年 油彩・キャンパス
 - 11 須田国太郎《風景(樹間)》1947年 油彩・キャンパス
- 4・5は日野市蔵 6～11は(公社)糖業協会蔵 それ以外は勝央町蔵



- 鉄 道：JR 岡山駅(津山線)→津山駅(姫新線)
→勝間田駅下車徒歩 15分
- バ ス：中国ハイウェイバス
JR津山駅より15分
新大阪駅より2時間15分
《中国勝間田》下車徒歩5分
- 自動車：中国自動車道
津山ICより約15分/美作ICより約10分/勝央ICより約5分
- 飛行機：岡山空港から車で約1時間10分

勝央美術文学館
SHOO MUSEUM OF THE ARTS
〒709-4316 岡山県勝田郡勝央町勝間田 207-4
Tel.0868-38-0270 Fax.0868-38-0260
<http://museum.town.shoo.lg.jp>